

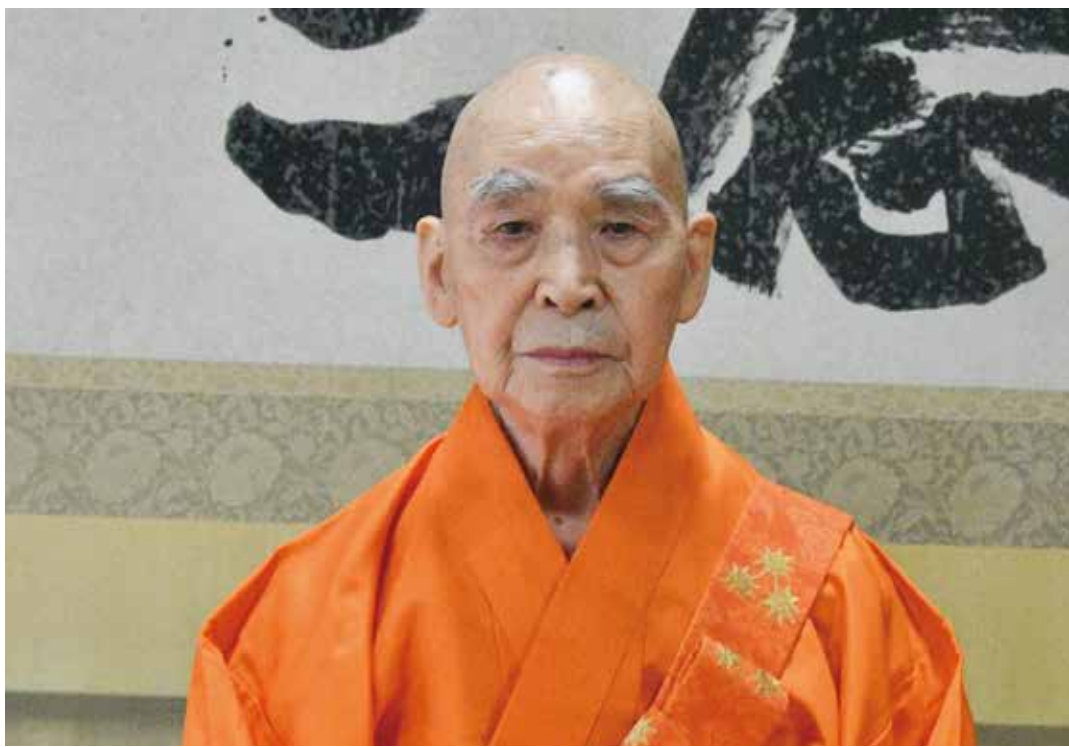
The TENDAI journal

令和8(2026)年10月1日 木曜日
(毎月1日発行) 1部80円 (消費税込・送料別)

天台ジャーナル

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 原 徳明
〒520-0113大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：t-press@tendai.or.jp

広報天台

第二百六十世天台座主に
堀澤祖門大僧正がご上任

藤光賢第二百五十九世天台座主猊下のご遷化に伴い、9月15日に堀澤祖門探題大僧正(延暦寺一山泰門庵住職)が第二百六十世天台座主にご上任された。堀澤座主猊下は昭和4年生まれ、97歳。戦後初の十二年籠山行を満行され、叡山学院院長、三千院門跡門主を務められた。堀澤座主猊下は「一切衆生のために全身心を捧げ勤めたい」との決意を示されている。

堀澤座主猊下は、新潟県小千谷市出身。京都大学経済学部中退後、昭和25年に故・叡南祖賢大阿闍梨に師事し得度受戒。昭和39年に十二年籠山行満行。同50年に延暦寺居士

林所長に就任し、平成4年には比叡山行院院長、同12年に叡山学院院長を歴任して後進の指導に当たられた。平成25年には、京都五箇室門跡のひとつ三千院門跡門主に就任さ

忘己利他」の精神で精進を誓われる

れ、令和2年10月までお務めになられた。

また同14年に戸津説法を勤仕され翌年望擬講に。令和4年10月に探題に補任され、次座探題となられてからは藤猊下を補佐されてきた。

このほか天台宗総合研究センター理事、天台宗教学振興事業団理事、一隅を照らす運動顧問、天台宗国際平和宗教協力協会副総裁などをはじめ、多くの要職を歴任されている。

宗祖が示された
慈悲の精神で

上任式は9月16日午前11時から、滋賀院門跡で奉修された。

天台宗と延暦寺の両役員が出仕のもと、内仏殿で大導師をお勤めになりご宝前に上任を報告された。続いて梅の間において、細野舜海宗務総長から梶井袈裟が奉呈された。

堀澤座主猊下は次のように「お言葉」を述べられた。

「極めて慌ただしく、驚きの中でお示しを受け、今日こうして尊職を継ぐことになりました。誠に万事、不適などころがいろいろありますけれども、これに従って座主職を



細野舜海宗務総長が「三諦章梶井袈裟」を奉呈

賜りたいと思います。現在、天台宗だけでなく、仏教はじめ宗教界全体の信頼度が落ちております。これを何としても新しい方向に向かって開いていかなければなりません。宗祖伝教大師の仰る『悪事を己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて他を利用するは、慈悲の極みなり』。この慈悲の精神が最大最高であると思います。自分のことはとにかく、一切衆生のために全身心を捧げたく存じます。ここに座主として、天台宗宗徒、檀信徒の皆さま方とともに立ち上がり、勇気を出して勤めて参ります。よろしく願います」。

謹告

諸般の事情で第284号(11月号)は11月4日付の発行といたします。ご理解のほどお願い申し上げます。

極微

「うるう時間」が2027年に導入されるという▼正確な時刻を導き出す為に今までは高精度な原子時計が測っている協定世界時(UTC)と地球の自転を元にしていて世界時(UT1)とのズレを、UTCに1秒足し引きすることで調整する「うるう秒」の仕組みを採用してきた。しかし、うるう秒での調整は通信システムなどに障害をもたらすことがある。そこで、UTCとUT1の差を3600秒まで許容する事でリスクを回避するとのことだ

▼実際に導入されても時間のズレを感じるなど、日常生活に支障をきたす事はない。だが仮に1日が1時間延びたとしたら、その時間を何に費やすだろうか▼人間は生涯のうち約30%を睡眠に充てていると言われている。睡眠を削って活動時間を延ばそうと考える人もいるようだが、確かに限られた時間を有意義に使う事は正しい。しかし何も無い時間を無価値だと切り捨ててしまっているわけではない▼生きていくと「こうあるべきだ」と固執することがままある。それは執着により自分の視野が狭まっている時に外ならない。目の前の事から離れ何もしない時間を作る事で、自分を見つめ直し冷静さを取り戻せるのではないだろうか▼時間は有限だ。他者を自分のペースに巻き込まず、そして巻き込まれないよう自分の時間軸で生きたいものだ。